

◇ おびひろ動物園飼育体験学習 ◇

7月16日(土)から17日(日)、「おびひろ動物園飼育体験学習」は、小学校4年生から6年生までの12名が参加しました。

1日目、宿泊施設の「帯広市児童会館」で科学実験教室を行いました。

「光の実験、万華鏡づくり」では、光の進む様子を観察し、万華鏡づくりでは、講師の指導を受けながら、好きなビーズを入れ、作成することを楽しみました。

「酸とアルカリで色変わりの実験」では、リトマス試験紙を使用し、色がどのように変化するかの実験をしました。

2日目、子どもたちは5つのグループに分かれ、アカカンガルー・マントヒヒなど、



写真: アカカンガルー獣舎の掃除

動物たちが生活している獣舎(じゅうしゃ)の掃除や餌の準備を行いました。

子どもたちは、普段体験することのできないチンパンジーやリスへの餌やり体験楽しんでいました。

飼育体験を通して、飼育員さんが毎日動物の体調に心を配り仕事をしていることを、学ぶことができました。



写真上: 万華鏡づくりの説明を受ける参加者
写真下: リトマス試験紙を使用した実験

●参加者の感想

えりも小学校6年 佐藤 香莉奈さん
飼育員さんの仕事は大変だとわかった。
実験では、リトマス試験紙で水溶液の性質を調べることができた。



写真: おびひろ動物園で記念写真

町指定文化財 「襟裳神社境内の石碑群」

「襟裳神社境内の石碑群」は、平成14年(2002年)3月20日に町指定文化財第3号に指定されています。

手水鉢(ちょうずばち)1基と狛犬台座(こまいぬだいざ)2基1対、石燈籠(いしとうろう)1基は、江戸時代末に奉納されました。

手水鉢の碑文には、正面に「奉納」、右側に「願主 讃岐栗嶋 升屋虎蔵」、左側に「嘉永三年戌 九月吉日」と刻まれています。

狛犬台座の碑文「願主 ホロイズミ 御場所 支配人 卯三郎 惣番人中」と刻まれています。

石燈籠の碑文は、正面に「御神燈」、右側に「文久元年辛酉年八月十五日」と刻まれています。

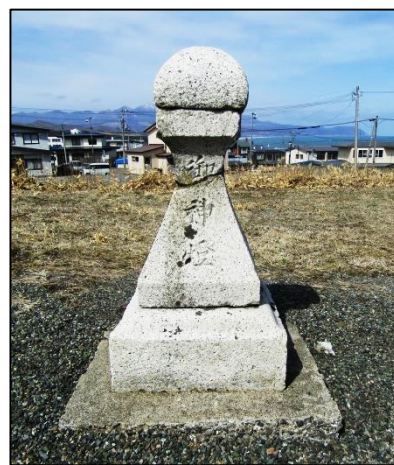
石燈籠1基、狛犬台座2基1対には、えりも町の歴史を物語る碑文が刻まれ、完形で残る手水鉢1基とともに、江戸時代東蝦夷地、幌泉場所の漁場開発の黎明期に活躍した人物を証する重要な文化財です。



写真：手水鉢=嘉永三年(1850年)奉納



写真：狛犬台座=江戸時代末奉納



写真：石燈籠=文久元年(1861年)奉納

8/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
○	休館日	わらしゃんど事業	わらしゃんど事業	わらしゃんど事業	○	○	○	休館日	○	○	休館日	○	○	○	休館日	○

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
○	○	わらしゃんど事業	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○

8月～9月の
開館カレンダー